

3. 消防財政

1. 市町村の消防費

(1) 消防費の決算状況

消防費の決算状況は、下表のとおりである。

市町村普通会計及び消防費の決算状況

(単位：億円、%)

項目		28年度	27年度	増減額	増減率
普通会計歳出総額(a)	一部事務組合 を含む	21,980	21,708	272	1.3
消防費歳出総額(b)		1,084	1,107	△23	△2.1
(b)/(a)%		4.9	5.1		
普通会計歳出総額(c)	一部事務組合 を除く	21,683	21,422	261	1.2
消防費歳出総額(d)		886	919	△33	△3.6
(d)/(c)%		4.1	4.3		

また、消防費の市町村普通会計歳出総額に占める比率を市町村別にみると、銚子市（8.8%）が最も高く、次いで栄町（8.2%）、酒々井町（7.3%）の順となっている。

(2) 1世帯及び住民1人あたりに支出した消防費

市町村における平成28年度消防費の1世帯当たり及び住民1人当たりの県平均額は下表のとおりである。

市町村別に見ると、住民1人当たりの消防費は、長柄町（35,665円）が最も高く、次いで大多喜町（34,993円）、銚子市（34,019円）の順となっている。

また、1世帯当たりの消防費は、大多喜町（98,282円）が最も高く、次いで長柄町（98,241円）、長南町（90,529円）の順となっている。

1世帯当たり、住民1人あたりに支出した消防費の推移

(単位：円)

項目 / 年度		24	25	26	27	28
1世帯あたり	組合 含む 一部 事務	43,640	46,169	41,252	42,291	40,662
住民1人あたり		17,871	19,079	17,232	17,867	17,361
1世帯あたり	組合 除く 一部 事務	35,748	38,484	34,230	35,080	33,225
住民1人あたり		14,639	15,903	14,299	14,820	14,186

(3) 消防費の性質別内訳

消防費の性質別内訳は、次のグラフのとおりであるが、消防費のうち人件費の占める割合が高く、全体に占める割合は60%である。

平成28年度市町村別消防費性質別歳出決算額の割合（一部事務組合を含む）

単位：百万円

